

30th Anniversary For CD Release

Kyoko Tabe

Piano Recital

田部京子 (ピアノ)

Kyoko Tabe (pianist)

東京芸術大学附属高校在学中、17歳で日本音楽コンクール優勝。ベルリン芸術大学に学び、エピナール国際ピアノコンクール、シュナーベル・コンクールにて第1位、ミュンヘン国際音楽コンクール(ARD)第3位など受賞。バイエルン放送響、バンベルク響、モスクワ・フィルほか国内外の多数のオーケストラと共演し、室内楽でも世界のトップアーティストから共演者に指名され厚い信頼を寄せられている。

CDは35枚以上をリリース、シューベルト、メンデルスゾーン、シベリウス、ドビュッシー、グリーグ、シューマン、ブラームス、ベートーヴェンなど各作品集の多くが国内外で特選盤となり、ステレオレビュー(米)、BBCミュージックマガジン(英)、フォノフォルム(独)各誌で高い評価を受けている。スイスで放送された演奏家名を伏せた世界の名盤「シューベルト:ソナタ第21番」聴き比べの番組では、評論家、リスナーなどによる投票で第1位を獲得した。吉松隆『プレイアデス舞曲集』、同氏から献呈された協奏曲『メモ・フローラ』などでも注目を集めた。『ます&シューマン:ピアノ五重奏曲』(共演:カルミナ四重奏団)がレコード・アカデミー賞を受賞するほか、『ブラームス:後期ピアノ作品集』、『モーツァルト:ピアノ協奏曲第20番ニ短調、第21番ハ長調』がレコード芸術誌〈リーダーズ・チョイス2012〉器楽部門第1位、協奏曲部門第2位に、



© Akira Muto

『ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ第30、31、32番』も〈ベストディスク2015〉(同誌)に選出。リサイタルシリーズ(浜離宮朝日ホール)は、2003年からスタートしたシューベルト、シューマン、ベートーヴェン、ブラームスなどのシリーズに続き、2016~2022年の『シューベルト・プラス』も大成功を収めている。NHKドラマ「夏目漱石の妻」の挿入曲「シューベルト:ピアノ・ソナタ第21番」の演奏でも話題を呼んだ。

CDデビュー25周年を迎えた2018年は、新譜リリースに加え、東京芸術劇場で一夜にモーツァルトとグリーグ2曲のピアノ協奏曲を演奏したほか、全国各地でリサイタルを行った。2020年には、ベートーヴェンの「ピアノ協奏曲ニ長調op.61a(ヴァイオリン協奏曲ニ長調op.61のピアノ協奏曲版)」と「皇帝」をサントリーホールで一夜に2曲演奏し高い評価を得ている。2022年1月に

は、田部京子に献呈された「シューベルト:ピアノソナタ第21番ピアノ協奏曲版(吉松隆編曲)」の世界初演が多くの話題を集め、8月には大阪で関西初演を行った。

第一線で演奏活動を続ける傍ら、桐朋学園大学院大学教授を務める。

現在、日本を代表する実力派ピアニストとしてますます人気を集め、2023年にCDデビュー30周年を迎える。

公式HP: <http://www.kyoko-tabe.com>

AIR AIR-G! (FM北海道) のクラシック音楽入門ラジオ番組
「朝クラ!」 (毎週日曜日あさ5:00~6:00放送)
DJ: 高山秀毅 HIDEKI TAKAYAMA

田部京子 Melody

2023年、デビュー30周年を迎える
実力派ピアニストが贈る! 珠玉の「メロディー」

【収録予定曲】

- J.S. バッハ(A.コルトー 編): アリオース
- C.ドビュッシー: 月の光
- F.シューベルト(F.リスト 編): 万霊節の連禱
- M.グリンカ/M.バラキレフ: ひばり ●E.グリーグ: ノクターン
- F.シューベルト(田部京子/吉松隆 編): アヴェ・マリア ●F.シューベルト: ハンガリー風のメロディ
- J.ブラームス: 間奏曲 作品118の2
- C.グルック/G.ズガンバーティ: メロディー (精霊の踊り)
- J.シベリウス: 樅の木 ●R.シューマン/F.リスト: 献呈
- M.ラヴェル: ボロディン風に ●G.フォーレ: シシリエンヌ
- M.スコリック: メロディー ●F.メンデルスゾーン: ヴェニスのゴンドラの歌 作品30の6
- J.ブラームス(吉松隆 編): 子守歌

※曲順未定。曲目は変更なる可能性があります。

2023. 4/19 on Sale!

COCQ-85604

Ultimate HQ DENON

定価3,300円(税抜価格¥3,000円)

発売元: 日本コロムビア株式会社

<https://columbia.jp/>



©AKIRA MUTO